



決算審査特別委員会



決算審査 PICKUP ①

災害時における電源を確保

Q 災害時の非常電源対策は、どのように講じているのか。

A 東京電力と協定を締結しており、状況に応じ電源車が配備される体制を確保しています。また、ハイブリッド車を6台購入し、災害時にはその車両によって電源を確保します。※ハイブリッド車は、毎時間400ワットの消費電力を継続して使用した場合、ガソリン満タン時で1台につき約4～5日間の電力供給が可能となります。



災害時における電源確保のため購入したハイブリッド車

決算審査 PICKUP ②

児童生徒の学習環境の整備を図る

Q ICT支援員の現状は。

A ICT支援員の業務については、GIGAスクールサポーターの業務と重なる部分も多いことから、GIGAスクールサポーターを令和3年6月から委託契約により1名配置し、1日1校を巡回し、教職員へのICT機器を活用した授業支援や研修を行っています。※ICTとは、情報処理だけではなく、インターネットなどの通信技術を利用した産業やサービスなどの総称です。



児童生徒1人につき1台のタブレット型パソコンを導入

決算審査 PICKUP ③

コロナ禍における地域経済対策の拡充を

Q プレミアム付き商品券の最終的な発行冊数は。

A 市民全員に1人あたり2冊の購入を上限に予算額を計上しましたが、実際には、その7割の10万5千冊を想定し準備しました。最終的な発行冊数は、10万4,479冊となり、マイナス521冊で、ほぼ完売しました。



令和2年度に発行したプレミアム商品券



決算審査特別委員会

令和2年度決算をチェック

お金の使い道を審査しました!

市長は、監査委員がチェックした前年度決算について、議会の審査を受け、期日までに議会の認定を受けなければなりません。審査の結果、全ての決算が認定されました。

令和2年度決算の概要

一般会計決算額

黒字

歳入 437億9,900万6,848円 (前年度比△97億6,668万8,352円、28.70%増)

歳出 407億486万3,501円 (前年度比△94億9,639万5,762円、30.43%増)

●歳入歳出差引額 30億9,414万3,347円 ●翌年度繰越財源 2億7,562万7,138円 ●実質収支額 28億1,851万6,209円

特別会計決算額

いずれも黒字・収支均衡

●国民健康保険事業

歳入 94億4,979万8,499円

歳出 91億6,517万2,272円

●歳入歳出差引額2億8,462万6,227円

●介護保険事業

歳入 73億5,000万5,431円

歳出 71億7,050万6,420円

●歳入歳出差引額1億7,949万9,011円

●観光事業

歳入 1億4,131万2,218円

歳出 1億4,131万2,218円

●歳入歳出差引額0円

●土地取得事業

歳入 1万5,978円

歳出 1万5,978円

●歳入歳出差引額0円

●後期高齢者医療事業

歳入 10億1,276万4,466円

歳出 10億1,127万5,566円

●歳入歳出差引額148万8,900円

●太陽光発電事業

歳入 2億5,319万1,551円

歳出 2億4,627万929円

●歳入歳出差引額692万622円

公営企業会計決算額

病院事業は赤字
その他は黒字

●水道事業

収益的収入 19億2,957万5,489円

収益的支出 17億878万4,708円

資本的収入 6億9,242万4円

資本的支出 14億7,176万926円

●純利益1億4,325万7,664円

●簡易水道事業

収益的収入 1億3,187万5,742円

収益的支出 1億494万5,426円

資本的収入 9,536万7,986円

資本的支出 1億1,106万72円

●純利益2,489万5,838円

●病院事業

収益的収入 33億8,841万4,392円

収益的支出 34億7,276万3,485円

資本的収入 6億2,903万2,000円

資本的支出 7億4,727万395円

●純損失8,778万294円

●公共下水道事業

収益的収入 16億4,317万6,815円

収益的支出 15億9,136万5,772円

資本的収入 5億5,708万7,059円

資本的支出 10億968万5,555円

●純利益3,343万5,882円

●農業集落排水事業

収益的収入 3億1,132万9,540円

収益的支出 2億7,113万1,744円

資本的収入 2,094万3,998円

資本的支出 9,019万8,646円

●純利益3,900万6,887円

